

加齢に伴う特定疾病(※1)

1. がん末期(医師が一般に認められている知見にもとづき回復の見込がない状態に至ったと判断した場合)
2. 関節リウマチ
3. 筋萎縮性側索硬化症
4. 後縦靭帯骨化症
5. 骨折を伴う骨粗鬆症
6. 初老期における認知症(アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症、レビー小体型認知症)
7. 進行性核上性麻痺
8. 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病(パーキンソン病関連疾患)
9. 脊髄小脳変性症
10. 脊柱管狭窄症
11. 早老症(ウェルナー症候群等)
12. 多系統萎縮症(線条体黒質変性症、シャイ・ドレーガー症候群、オリブ橋小脳萎縮症)
13. 糖尿病性神経障害
14. 糖尿病性腎症及び糖尿病性網膜症
15. 脳血管疾患(脳出血、脳梗塞等)
16. 閉塞性動脈硬化症
17. 慢性閉塞性肺疾患(肺気腫、慢性気管支炎、気管支喘息、びまん性細気管支炎)
18. 両側の膝関節または股関節に著しい変形を伴う変形性関節症

厚生労働団人が定める疾病等の利用者(※2)

1. 末期の悪性腫瘍
2. 多発性硬化症
3. 重症筋無力症
4. スモン
5. 筋萎縮性側索硬化症
6. 脊髄小脳変性症
7. ハンチントン病
8. 進行性筋ジストロフィー症
9. パーキンソン病関連疾患(ホーエン・ヤールの重症度分類がステージ3以上であって生活機能障害度がⅡ度またはⅢ度のものに限る)
10. 多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症、シャイ・ドレーガー症候群)
11. プリオン病
12. 亜急性硬化性全脳炎
13. ライソゾーム病
14. 副腎白質ジストロフィー
15. 脊髄性筋萎縮症
16. 球脊髄性筋萎縮症
17. 慢性炎症性脱髄性多発神経炎
18. 後天性免疫不全症候群
19. 頸髄損傷
20. 人工呼吸器を使用している状態